

平成28年度

行政経営報告書

伊 賀 市

平成28年度 伊賀市行政経営報告書

目次

	頁
行政経営報告書の作成にあたって	2
まちづくりアンケート結果概要	3
1. まちづくりアンケートとは	3
2. 調査の仕様	3
3. 前回の調査時にわかった課題と平成28年度施策の優先度との関係	3
4. 前回調査結果との比較	3
5. 各政策の満足度、必要度の一覧	5
再生計画の進捗状況	9
行政評価とは	15
重点プロジェクト	18
分野別計画・計画の推進一覧	21
施策評価シートの見方	24
優先度の決定方法	26
分野別計画	28
計画の推進	210

行政経営報告書の作成にあたって

第2次伊賀市総合計画(2014(平成26)年7月発行)は、めざす市のすがたやまちづくりの基本理念、それらを実現するために必要なまちづくりの「政策」を示す「基本構想」と、基本構想に掲げる将来像を達成するため、まちづくりの政策に基づく根幹的な「施策」や事業を示す「再生計画」で構成しています。

第2次伊賀市総合計画(基本構想)で描いた将来像を実現していくため、ここに平成28年度における施策への取組の方向性を示した「平成28年度伊賀市行政経営報告書」を公表します。

この「平成28年度伊賀市行政経営報告書」は、第2次伊賀市総合計画(再生計画)の進捗状況や、平成27年度の市政運営の評価をもとに、成果や課題を捉え、事務事業の取捨選択や改善に取り組み、平成28年度予算にどのように反映させたのかを市民の皆さんに分かりやすく公表することを目的に作成しています。

28本の「政策」については外部評価(まちづくりアンケート)を、107本の「施策」については内部評価(施策評価)を行い、これらの評価の結果だけではなく、外部環境要因(時代の潮流、市民の声)や財政状況などから、平成28年度の施策の目標達成に向けた取組みを定めました。参考にまちづくりアンケート結果概要と再生計画の進捗状況を掲載します。

そして、第2次伊賀市総合計画の基本構想に掲げた将来像である「ひとが輝く地域が輝く」伊賀市の実現に向け、「重点プロジェクト」、「分野別計画」、「計画の推進」に分けて平成28年度の取組みを掲載します。また、各施策評価シートの中には、平成28年度は第一次再生計画(平成26~28年度)の最終年度となっていることから、中間総括も掲載しています。

まちづくりアンケート結果概要

1. まちづくりアンケートとは

「ひとが輝く 地域が輝く 伊賀市」を実現するために、市民の皆さんが普段の生活で感じられていること、お気づきになられていることをお聞かせいただき、今後の伊賀市のまちづくりの参考とするものです。

また、第2次伊賀市総合計画の各政策にかかる、市民の皆さんの「現状での満足度」、また「今後の重要性」を把握することで、客観性が確保された現状分析や方向性の検討を可能とするものです。

2. 調査の仕様

(1) 調査地域	伊賀市全域
(2) 調査対象	伊賀市在住の18歳以上の市民2,222人
(3) 抽出方法	住民登録及び外国人登録されている方から無作為抽出
(4) 調査方法	無記名式質問紙調査
(5) 調査期間	平成28年2月～平成28年3月
(6) 有効回答数	1,029人(有効回答率 46.3%)

3. 前回の調査時にわかった課題と平成28年度施策の優先度との関係

必要度が高くなっているのに、満足度が下がっていた「子どもを安心して産み、育てられるまちづくり」については、最重点化が1つ、継続取組が2つと、取り組みを強化する方向となっています。

また、必要度も満足度も下がっていた「自然を守り、自然と調和したまちづくり」については、効果検討が1つ、継続取組が2つと、政策(施策)のあり方や内容について検討していく方向となっています。

必要度の順位を下げていた「地域性を活かしたモノづくりと新たなサービス創出が活発なまちづくり(-6位)」については、継続取組が1つと目的が達成されていたり、サービスが過剰供給になっていないか様子を見ていく方向となっています。

また、満足度の順位を下げていた「情報共有と市民参加(-4位)」については、重点化が2つと取り組みを強化していく方向となっています。

以上のように、まちづくりアンケート結果は、現状分析や翌年度予算の検討材料となり、財源配分する際の指標である施策の「優先度」に反映されています。

4. 前回調査結果との比較

前回調査より満足度(そう思う、ややそう思う)の割合が高くなったのは28政策のうち25政策で、増加幅が大きいものに、

「健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり(+5.6ポイント)」

「自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり(+5.1ポイント)」

「人と人がつながる元気な農林業のまちづくり(+4.1ポイント)」

などとなっています。また、低くなった3政策は

「環境に配慮した生活環境が整うまちづくり(-0.5ポイント)」

「行政の自立的な運営(-0.5ポイント)」

「地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり(-0.2ポイント)」

などとなっています。ただ、平成25年度の調査結果から見ると、今回は減少していた「環境に配慮した生活環境が整うまちづくり」が+0.8ポイントとなっており、逆に今回は増加していた「地域活動や市民活動が活発である」が-0.5ポイントとなっているものもあります。

また、必要度(重要、やや重要と思う)の割合が高くなったのは28政策のうち27政策で、増加幅が大きいものに、

「多様な主体が地域課題を解決するため起業できるまちづくり(+5.0ポイント)」

「地域性を活かしたモノづくりと新たなサービス創出が活発なまちづくり(+4.7ポイント)」

「地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり(+4.6ポイント)」

「文化の違いを尊重し、多文化が共生するまちづくり(+4.6ポイント)」

などとなっています。また、低くなった政策はありませんでしたが、平成25年度の調査結果から見ると、今回は増加していた「自然を守り、自然と調和していること」が-1.6ポイントとなっているものもあります。

必要度が高くなっているのに、満足度が下がっている

「環境に配慮した生活環境が整うまちづくり」

「行政の自立的な運営」

「地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり」

については、取り組みを強化するなどの対応が求められています。また、必要度も満足度も下がっている政策(施策)はありませんでした。

必要度の順位を下げている

「人と人がつながる元気な農林業のまちづくり(-5位)」

「健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり(-3位)」

「市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり(-3位)」

「情報共有と市民参加(-3位)」

については、目的が達成されていたり、サービスが過剰供給になっていないか検証が必要です。

また、満足度の順位を下げている

「あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり(-4位)」

「地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり(-3位)」

「中心市街地と各地域が連携した賑わいあるまちづくり(-3位)」

については、取り組みを強化するなどの対応が求められています。

5. 各政策の満足度、必要度の一覧

分野	政策	施策	27年4月				28年3月			
			満足度		必要度		満足度		必要度	
			そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)	そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)
1 健康・福祉	11 健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり	1101 市民主体の健康づくり活動を支援する体制づくり	21.6	12	84.3	4	27.2	9	85.6	2
		1102 市民一人ひとりが健康で健やかに暮らせる環境づくり								
		1103 疾病の早期発見・早期治療につなげる体制づくり								
		1104 歯の健康づくりを推進するための体制づくり								
		1105 感染症に関する情報提供と体制づくり								
		1106 地域医療の充実								
		1107 福祉医療費助成制度の充実								
	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	1201 官民協働による、新たな福祉の総合相談支援を行う体制づくり	16.2	16	82.7	5	19.5	15	83.7	5
		1202 児童虐待、障がい者虐待及びDV被害等による関係機関との支援体制づくり								
		1203 乳幼児期から学齢期、青年期まで途切れのない支援を行う体制づくり								
		1204 医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり								
		1205 だれもが自分らしく暮らせるまちづくり								
		1206 地域における、見守り、支えあう体制づくり								
13 子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	1301 地域における子育て支援事業の充実	25.1	8	85.4	2	28.9	6	85.4	3	
	1302 ひとり親家庭の自立支援の推進									
	1303 乳幼児期から生育・食育を含めた知識の普及と途切れのない子育て支援の体制づくり									
2 生活・環境	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	2101 さまざまな災害を想定した体制づくり	26.9	6	84.9	3	32.0	5	85.3	4
		2102 災害時に援護や配慮が必要な人たちを支援する体制づくり								
		2103 災害時における情報収集、伝達機能を確保する施設整備の推進								
		2104 消防体制の強化推進								
		2105 救急・救助体制の強化								
		2106 非常備消防体制の充実強化								
		2107 交通事故ゼロをめざした取り組みの推進								
		2108 消費者被害防止のための啓発等の充実								
		2109 河川環境の保全・整備								

分野	政策	施策	27年4月				28年3月			
			満足度		必要度		満足度		必要度	
			そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)	そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)
2 生活・環境	22 自然を守り、自然と調和したまちづくり	2201 環境保全意識の高揚・啓発	42.5	1	69.1	11	45.1	1	71.6	13
		2202 地球温暖化防止に向けた取り組みの推進								
		2203 不法投棄をさせない、されない体制づくり								
	23 環境に配慮した生活環境が整うまちづくり	2301 効率的な収集ができる体制づくり	28.8	5	70.2	10	28.3	8	72.5	10
		2302 ごみ減量及び資源のリサイクルを推進する体制づくり								
		2303 ごみ処理施設のあり方を検討する体制づくり								
		2304 水道水源の安定確保								
		2305 水道施設の充実と健全運営								
		2306 生活排水処理施設整備の推進と適正な維持管理								
		2307 下水道事業の健全経営								
2308 排水路の改修、整備										
2309 し尿処理施設の整備										
3 産業・交流	31 地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	3101 観光・物産情報の発信と、市民ぐるみの誘客とPR	23.6	9	57.5	22	23.4	12	62.1	19
		3102 市内全域の魅力アップと「おもてなし」のしくみづくり								
	32 人と人がつながる元気な農林業のまちづくり	3201 持続可能な農業の推進	8.2	25	50.8	27	12.3	20	54.3	27
		3202 森林の整備と住民の取り組み								
	33 中心市街地と各地域が連携した賑わいあるまちづくり	3301 中心市街地の魅力を発掘し、市内外へ発信する体制づくり	7	27	58.4	21	7.9	27	62.6	18
		3302 商業・文化の交流拠点となる中心市街地の再生								
		3303 個店の機能強化と商店街機能の充実								
	34 地域性を活かしたモノづくりと新たなサービス創出が活発なまちづくり	3401 地域産業の高付加価値化	9.1	23	54.8	25	9.9	25	59.5	24
	35 だれもが働きやすく、働く意欲が持てるまちづくり	3501 働く人の意欲に応える多様な就業・雇用の促進	7.8	26	81.1	6	9.7	26	83.0	6
		3502 若年無業者の職業的自立への支援								
		3503 若者の地元雇用に向けた就業支援								
	36 多様な主体が地域課題を解決するため起業できるまちづくり	3601 コミュニティビジネスなどの起業の普及啓発と支援	5.2	28	48.2	28	6.5	28	53.2	28
		3602 コミュニティビジネスの中間支援								
		3603 市民公益活動団体等の基盤強化支援								

分野	政策	施策	27年4月				28年3月			
			満足度		必要度		満足度		必要度	
			そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)	そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)
4 生活基盤	41 歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	4101 効率的で持続可能な都市構成をめざした制度づくり	42.1	2	61.3	17	44.2	2	61.8	20
		4102 快適で潤いある都市空間の形成と安全・安心の公園整備								
		4103 伊賀市らしい魅力ある景観を守り、活かす体制づくり								
		4104 既存住宅の耐震診断・耐震補強の促進								
		4105 市営住宅の建替・改善事業の推進								
	42 市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	4201 市内幹線道路・生活道路の整備	10.3	21	70.9	9	13.7	18	72.4	11
		4202 道路環境の維持・向上								
		4203 交通政策の計画的な推進								
		4204 安定的で持続可能な交通サービスの提供								
		4205 伊賀線の活性化及び再生								
4206 JR関西本線の近代化整備										
4207 JR草津線及び近鉄大阪線の利便性向上、リニア中央新幹線建設促進										
51 あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	5101 人権意識の高揚	26.3	7	68.8	13	28.7	7	73.3	9	
	5102 人権擁護と救済									
	5103 非核平和の推進									
	5104 同和行政の推進									
	5105 人権教育リーダーの育成									
52 女性がより一層活躍できる男女共同参画のまちづくり	5201 あらゆる分野における男女共同参画	16.9	15	62.5	15	19.6	14	66.5	14	
	5202 男女の人権尊重									
	5203 ワーク・ライフ・バランスの推進									
53 将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	5301 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり	22.5	11	85.8	1	25.6	10	87.2	1	
	5302 望ましい学校教育環境を提供する体制づくり									
	5303 適正な学校規模を推進する体制づくり									
54 生涯にわたって学びの機会が持てるまちづくり	5401 生涯学習活動の推進	17.1	14	69	12	18.8	16	72.1	12	
	5402 だれもが利用しやすい図書館の充実									
	5403 子どもの読書活動を推進するための体制づくり									
	5404 青少年健全育成を推進するための体制づくり									
	5405 公民館活動の活性化と育成									

分野	政策	施策	27年4月				28年3月				
			満足度		必要度		満足度		必要度		
			そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)	そう思う、ややそう思う比率(%)	順位(位)	重要、やや重要と思う比率(%)	順位(位)	
6 文化・地域づくり	61 文化の違いを尊重し、多文化が共生するまちづくり	6101 多文化共生施策の充実と推進体制の整備	23.6	10	52.6	26	24.4	11	57.2	26	
	62 文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	6201 豊かな感性を育む文化・芸術意識の高揚	32.7	4	59.4	19	34.1	3	63.7	17	
		6202 市民の身近で充実した文化施設									
		6203 芭蕉翁を核とした地域づくりの継承									
		6204 歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ									
		6205 だれもが気軽に楽しめるスポーツの振興									
	63 地域活動や地域産業などの担い手が育ち、活躍するまちづくり	6301 市民活動支援機能等の充実	10.7	20	71.4	8	12.2	21	73.5	8	
		6302 地域の人材育成の促進									
	64 地域活動や市民活動が活発なまちづくり	6401 協働意識の醸成	20.1	13	63.1	14	21.2	13	64.7	16	
		6402 協働によるまちづくりの推進									
		6403 住民自治協議会の支援体制づくり									
		6404 自治センター化の体制づくり									
	計画の推進	711 地域内分権の推進	7111 多様な主体で担う公共のしくみづくり	14.7	17	57.3	24	16.4	17	59.4	25
			7112 地域内分権を支える支所機能の充実								
		712 情報共有と市民参加	7121 情報化と広報機能の充実	9.9	22	62.3	16	12.7	19	65.8	15
7122 市民参加の促進と広聴機能の充実											
721 財政の的確な運営		7211 持続可能な財政運営の推進	10.8	19	59.5	18	12.2	22	59.7	23	
		7212 自主財源の確保と負担の適正化									
		7213 市民の財産として継承する持続可能な公共施設マネジメント									
722 市民の期待に応えられる人・組織づくり		7221 住民サービスに資する職員育成のための人事制度構築と運用	33.3	3	74.1	7	33.9	4	76.4	7	
		7222 行政組織のスリム化									
		7223 行政サービス機能の充実									
723 行政の自立的な運営		7231 自立的な市行政の運営	11.1	18	57.3	23	10.6	23	61.0	22	
		7232 市庁舎の整備									
		7233 情報化による効率的な行政運営の実現									
		7234 広域的な連携による行政の運営									
724 進行管理のしくみ		7241 総合計画に基づく市政の進行管理	8.8	24	58.8	20	10.2	24	61.7	21	
	7242 各種計画の整理統合										

再生計画の進捗状況

第2次伊賀市総合計画は、めざす市のすがた(将来像)やまちづくりの基本理念、それらを実現するために必要なまちづくりの政策を示す基本構想と、基本構想に掲げる将来像を達成するため、まちづくりの政策に基づく根幹的な施策や事業を示す再生計画で構成されています。

再生計画に位置づける施策については、法律などに基づいて決められたとおりに実行するものは除き、推進・進行管理すべきものとしています。

進捗度	目標達成状況により算出
A 進んだ	100%
B ある程度進んだ	85%以上100%未満
C あまり進まなかった	70%以上85%未満
D 進まなかった	70%未満

※左の基準による区分がふさわしくない項目については、総合的に判断しています。

目標達成状況は、

- ①増加を目指す指標の場合・・・ 平成27年度実績値 ÷ 平成27年度目標値
- ②減少を目指す指標の場合・・・ 平成27年度目標値 ÷ 平成27年度実績値
- ③累積値を目標値に設定する場合・・・ (平成27年度実績値 - 平成26年度実績値) ÷ (平成27年度目標値 - 平成26年度目標値)

で算出しています。

分野	施策	成果指標	25年度実績値	26年度目標値	26年度実績値	27年度目標値	27年度実績値	28年度目標値	目標達成状況	進捗度
1 健康・福祉	1101 市民主体の健康づくり活動を支援する体制づくり	医師会、民間団体と連携し、取り組んだ健康づくり事業等の回数(回)	7	8	8	10	18	12	180.0%	A
	1102 市民一人ひとりが健康で豊かに暮らせる環境づくり	市民の健康感(%)	71.5	48.0	68.7	50.0	70.6	73.0	141.2%	A
	1103 疾病の早期発見・早期治療につなげる体制づくり	要精密検査で早期に胃がんが発見された人の割合(%)	0	5.0	2.0	5.5	4.6	6.0	83.6%	C
	1104 歯の健康づくりを推進するための体制づくり	う歯のない児の割合(12歳児)(%)	48.4	49.0	49.0	49.5	47.7	50.0	96.4%	B
	1105 感染症に関する情報提供と体制づくり	インフルエンザと診断された人数(人)	1,483	1,450	1,444	1,430	2,084	1,400	68.6%	D
	1106 地域医療の充実	夜間・休日における二次救急実施病院受入率(%)	96.0	96.0	94.0	96.0	96	98.0	100.0%	A
	1107 福祉医療費助成制度の充実	登録者数(人)	493	440	534	460	2,487	520	540.7%	A
	1201 官民協働による、新たな福祉の総合相談支援を行う体制づくり	地域ケア会議等開催回数(回)	35	33	31	35	35	36	100.0%	A
	1202 児童虐待、障がい者虐待及びDV被害等による関係機関との支援体制づくり	児童虐待の進行管理の終結人数(人)	36	34	64	33	100	35	303.0%	A
	1203 乳幼児期から学齢期、青年期まで途切れのない支援を行う体制づくり	保護者からの(との)相談件数(件)	245	300	300	350	286	400	81.7%	C
	1204 医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり	介護サービス利用率(%)	17.4	17.5	17.6	17.8	17.5	18.0	98.3%	B

分野	施策	成果指標	25年度 実績値	26年度 目標値	26年度 実績値	27年度 目標値	27年度 実績値	28年度 目標値	目標 達成 状況	進 展 度
1 健康・ 福祉	1205 だれもが自分らしく暮らせる まちづくり	グループホーム及びケアホーム の定員数(人)	61	66	76	71	84	76	118.3%	A
	1206 地域における、見守り、支え あう体制づくり	地域で安心して暮らせると感じる 満足度(%)	36.0	38.0	36.6	40.0	38.8	41.7	97.0%	B
	1301 地域における子育て支援事 業の充実	子どもを産み育てやすい環境 や支援が整っていると思う満 足度(%)	31.7	30.0	30.0	35.0	29.1	41.5	83.1%	C
	1302 ひとり親家庭の自立支援の 推進	ひとり親家庭からの相談解決 率(%)	87.8	88.0	79.0	89.0	92.8	90.0	104.3%	A
	1303 乳幼児期から生育・食育を含 めた知識の普及と途切れの ない子育て支援の体制づくり	子育てにいらいらを感じている 人の割合(%)	25.4	24.0	25.9	23.0	25.7	20.0	89.5%	B
2 生活・ 環境	2101 さまざまな災害を想定した体 制づくり	あんしん・防災ネット登録者数 (人)	3,200	3,800	3,920	4,600	4,041	5,000	15.1%	D
	2102 災害時に援護や配慮が必要 な人たちを支援する体制づく り	避難行動要支援者名簿情報 提供同意率(%)	60.8	61.0	60.4	63.0	59.3	65.0	94.1%	B
	2103 災害時における情報収集、 伝達機能を確保する施設整 備の推進	孤立地区への通信手段整備 率(%)	0	50.0	41.7	100.0	83.4	100.0	83.4%	C
	2104 消防体制の強化推進	消防水利の充足率(%)	68.6	69.0	69.0	69.5	69.5	70.0	100.0%	A
	2105 救急・救助体制の強化	救急救命士数(人)	31	38	36	40	40	42	200.0%	A
	2106 非常備消防体制の充実強化	消防団員の確保(人)	1,473	1,480	1,476	1,490	1,470	1,510	-60.0%	D
	2107 交通事故ゼロをめざした取り 組みの推進	交通安全教室参加者数(人)	28	45	19	45	51	45	113.3%	A
	2108 消費者被害防止のための啓 発等の充実	消費生活相談件数(件)	324	200	263	200	247	270	123.5%	A
	2109 河川環境の保全・整備	浚渫実施箇所数(箇所)	5	11	9	13	14	15	250.0%	A
	2201 環境保全意識の高揚・啓発	庁内Co2排出量の数値(kg)	100	100	87	100	100	100	100.0%	A
	2202 地球温暖化防止に向けた取 り組みの推進	地球温暖化防止に向けた事 業・普及啓発セミナーの参加 者数(人)	46	64	50	82	111	100	135.4%	A
	2203 不法投棄をさせない、されな い体制づくり	不法投棄防止対策処理件数 (件)	1	1	1	3	1	5	33.3%	D
	2301 効率的な収集ができる体制 づくり	可燃ごみ適合率(%)	86.2	87.0	86.8	88.0	84.9	90.0	96.5%	B
	2302 ごみ減量及び資源のリサイク ルを推進する体制づくり	ごみの資源化率(%)	57.0	59.0	58.1	61.0	61.5	63.0	100.8%	A
2303 ごみ処理施設のあり方を検 討する体制づくり	一般廃棄物処理施設整備計 画進捗率(%)	0	0	0	50	50	100.0	100.0%	A	
2304 水道水源の安定確保	伊賀市水道事業基本計画の 策定率(%)	20.0	50.0	30.0	60	55	100.0	250.0%	A	

分野	施策	成果指標	25年度 実績値	26年度 目標値	26年度 実績値	27年度 目標値	27年度 実績値	28年度 目標値	目標 達成 状況	進展 度
2 ・ 生 活 ・ 環 境	2305 水道施設の充実と健全運営	水道広域化促進事業(%)	43.0	56.0	52.0	67.0	64.0	83.0	109.1%	A
	2306 生活排水処理施設整備の推進と適正な維持管理	生活排水処理施設整備率(%)	72.0	73.0	73.2	75.0	76.0	76.3	140.0%	A
	2307 下水道事業の健全経営	事業進捗率(%)	0	35.0	36.0	70.0	79	100.0	122.9%	A
	2308 排水路の改修、整備	事業進捗率(%)	29.0	84.0	82.0	85.0	84.0	86.0	—	—
	2309 し尿処理施設の整備	事業進捗率(%)	0	0	0	0.90	0.9	1.1	100.0%	A
3 ・ 産 業 ・ 交 流	3101 観光・物産情報の発信と、市民ぐるみの誘客とPR	伊賀市観光ホームページへのアクセス数(件)	18,000	20,000	40,150	25,000	138,149	30,000	552.6%	A
	3102 市内全域の魅力アップと「おもてなし」のしくみづくり	着地型観光の事業主体数(主体)	0	70	108	80	81	100	101.3%	A
	3201 持続可能な農業の推進	人・農地プラン作成集落カバー率(プラン作成集落/集落数)	20	50	29	85	35	120	17.1%	D
	3202 森林の整備と住民の取り組み	認定林業体等森林経営計画作成面積(ha)	424.03	490	862	490	1,300	490	—	—
	3301 中心市街地の魅力を発掘し、市内外へ発信する体制づくり	歩行者・自転車通行量(人)	3,964	4,080	4,096	4,200	4,421	4,300	105.3%	A
	3302 商業・文化の交流拠点となる中心市街地の再生	小売年間販売額(百万円)	2,420	2,430	2,513	2,440	2,515	2,460	103.1%	A
	3303 個店の機能強化と商店街機能の充実	商店街等の空き店舗の減少(%)	100.0	97.0	97.0	94.0	94.3	90.0	99.7%	B
	3401 地域産業の高付加価値化	製造業に係る粗付加価値額(万円)	2,561	2,599	2,970	2,638	現時点で未公表	2,675	—	—
	3501 働く人の意欲に応える多様な就業・雇用の促進	伊賀公共職業安定所管内の就職率(%)	92.9	100.0	99.9	100.0	95.2	100.0	95.2%	B
	3502 若年無業者の職業的自立への支援	就労支援により若年者が就業に結びついた割合(%)	43.9	44.0	44.2	44.5	41.3	45.0	92.8%	B
	3503 若者の地元雇用に向けた就業支援	合同就職セミナー参加者の地元就職率(%)	100.0	120.0	86.0	140.0	130.0	160.0	92.9%	B
	3601 コミュニティビジネスなどの起業の普及啓発と支援	コミュニティビジネスやソーシャルビジネスなどの起業数(件)	11	12	14	14	16	16	100.0%	A
	3602 コミュニティビジネスの中間支援	団体等がコミュニティビジネスを始めた件数(件)	3	3	3	4	4	5	100.0%	A
3603 市民公益活動団体等の基盤強化支援	認定NPO法人件数(件)	0	1	0	3	0	5	0.0%	D	

分野	施策	成果指標	25年度 実績値	26年度 目標値	26年度 実績値	27年度 目標値	27年度 実績値	28年度 目標値	目標 達成 状況	進展 度
4 生活 基盤	4101 効率的で持続可能な都市構 成をめざした制度づくり	都市計画区域の再編と区域区 分制度設計進捗率(%)	0	80.0	80.0	90.0	90.0	95.0	100.0%	A
	4102 快適で潤いある都市空間の 形成と安全・安心の公園整備	都市公園安全安心対策緊急 総合支援事業進捗率(%)	55	60	60	67	69	80	128.6%	A
	4103 伊賀市らしい魅力ある景観を 守り、活かす体制づくり	届出対象行為の適合率(%)	88.0	100.0	100.0	100.0	97.0	100.0	97.0%	B
	4104 既存住宅の耐震診断・耐震 補強の促進	住宅の耐震化率(%)	69.10	83.0	77.8	84.0	78.3	90.0	50.0%	D
	4105 市営住宅の建替・改善事業 の推進	事業進捗率(%)	0	0	0	5.07	0	10.15	0.0%	D
	4201 市内幹線道路・生活道路の 整備	市道改良率(%)	26.55	26.60	26.60	26.66	26.66	26.71	100.0%	A
	4202 道路環境の維持・向上	橋梁修繕対策実施率(橋長15 m以上の橋梁)(%)	0.4	0.7	0.4	1.1	0.4	6.0	0.0%	D
	4203 交通政策の計画的な推進	交通計画施策の着手率(%)	96.2	98.0	96.2	98.0	93.3	98.0	95.2%	B
	4204 安定的で持続可能な交通 サービスの提供	上野コミュニティバス年間輸送 人員(人)	26,025	26,000	26,617	26,000	27,594	26,000	106.1%	A
	4205 伊賀線の活性化及び再生	伊賀線年間輸送人員(万人)	164	156	152	152	151	148	99.3%	B
	4206 JR関西本線の近代化整備	JR関西本線年間輸送人員(柘 植駅～島ヶ原駅:万人)	61	63	55	64	現時点で 未公表	65	—	—
4207 JR草津線及び近鉄大阪線の 利便性向上、リニア中央新幹 線建設促進	市外への公共交通網が充実し ていると思う割合(%)	14.6	16.4	15.5	18.2	16.8	20.0	92.3%	B	
5 教育 ・ 人権	5101 人権意識の高揚	人権問題地区別懇談会の参 加者数(人)	5,050	5,000	4,971	5,000	4,687	5,000	93.7%	B
	5102 人権擁護と救済	人権相談の相談者数(人)	13	13	13	15	13	30	86.7%	B
	5103 非核平和の推進	戦争についての関心や理解度 (%)	89.3	90.0	98.8	90.0	98.3	90.0	109.2%	A
	5104 同和行政の推進	人権同和問題に関する学習の 機会や相談の機会が保たれて いると感じる人の割合(%)	31.3	50.0	31.8	60.0	33.7	70.0	56.2%	D
	5105 人権教育リーダーの育成	人権大学講座延べ受講者数 (人)	628	650	696	700	623	1,300	89.0%	B
	5201 あらゆる分野における男女共 同参画	審議会等への女性委員の登 用率(%)	30.5	38.0	31.1	40.0	25.7	40.0	64.3%	D
	5202 男女の人権尊重	男女共同参画に関する講座等 の参加者数(人)	1,020	1,100	1,100	1,150	1,142	1,100	99.3%	B
	5203 ワーク・ライフ・バランスの推 進	子育てや介護が男女を問わず できるような雰囲気や環境が あると思う市民意識の割合 (%)	17.6	20.0	16.3	25.0	16.8	30.0	67.2%	D
5301 個性を伸ばし、夢を追い求め られる教育を推進する体制づ くり	将来の夢や目標を持っている 児童生徒の割合(%)	72.2	80	73.2	80	71.6	100	89.5%	B	

分野	施策	成果指標	25年度 実績値	26年度 目標値	26年度 実績値	27年度 目標値	27年度 実績値	28年度 目標値	目標 達成 状況	進展 度
5 ・ 教育 ・ 人権	5302 望ましい学校教育環境を提供する体制づくり	校舎及び屋内運動場の耐震化率(%)	88.4	93.4	94.1	96.7	94.7	100.0	18.2%	D
	5303 適正な学校規模を推進する体制づくり	複式学級編成校数(校)	7	7	7	4	4	3	100.0%	A
	5401 生涯学習活動の推進	生涯学習セミナー内容についての満足度(%)	49.0	53.0	56.0	57.0	86.0	58.0	150.9%	A
	5402 だれもが利用しやすい図書館の充実	図書貸出冊数(冊)	274,738	285,000	315,897	295,000	336,540	300,000	114.1%	A
	5403 子どもの読書活動を推進するための体制づくり	児童書の貸出回数(冊)	101,858	105,000	118,605	109,000	105,808	110,000	97.1%	B
	5404 青少年健全育成を推進するための体制づくり	伊賀市青少年育成市民連絡会議推進大会参加者数(人)	206	150	157	200	211	300	105.5%	A
	5405 公民館活動の活性化と育成	地区公民館施設利用回数(回)	3,259	4,500	5,135	4,900	9,966	5,000	203.4%	A
6 ・ 文化 ・ 地域づくり	6101 多文化共生施策の充実と推進体制の整備	外国人住民が住んでよかったと感じる割合(%)	—	50.0	42.0	50.0	32.8	50.0	65.6%	D
	6201 豊かな感性を育む文化・芸術意識の高揚	市民美術展覧会応募者数(人)	136	160	135	160	145	160	90.6%	B
	6202 市民の身近で充実した文化施設	文化施設の来館者数(人)	10,279	18,000	11,511	18,000	15,616	18,000	86.8%	B
	6203 芭蕉翁を核とした地域づくりの継承	芭蕉祭献詠俳句応募数(句)	34,355	40,000	40,499	40,000	38,141	40,000	95.4%	B
	6204 歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	文化財施設への入館者数(人)	24,369	24,100	23,609	24,350	26,640	24,600	109.4%	A
	6205 だれもが気軽に楽しめるスポーツの振興	参加者数(人)	4,234	4,300	4,024	4,500	3,535	5,000	78.6%	C
	6301 市民活動支援機能等の充実	市民活動支援センターへの登録件数(件)	144	150	189	155	288	160	185.8%	A
	6302 地域の人材育成の促進	インターンシップの受け入れ企業・事業所数(事業所)	251	260	256	280	285	300	101.8%	A
	6401 協働意識の醸成	ボランティアや市民活動等に参加している市民の割合(%)	27.4	28.0	30.1	29.0	28.4	30.0	97.9%	B
	6402 協働によるまちづくりの推進	地域活動支援事業の協働事業ができた件数(件)	1	3	4	4	2	5	50.0%	D
6403 住民自治協議会の支援体制づくり	地域まちづくり計画の達成度(%)	—	10.0	5.3	20.0	15	30.0	75.0%	C	
6404 自治センター化の体制づくり	地区市民センターを指定管理した件数(件)	—	0	0	0	0	38	—	—	

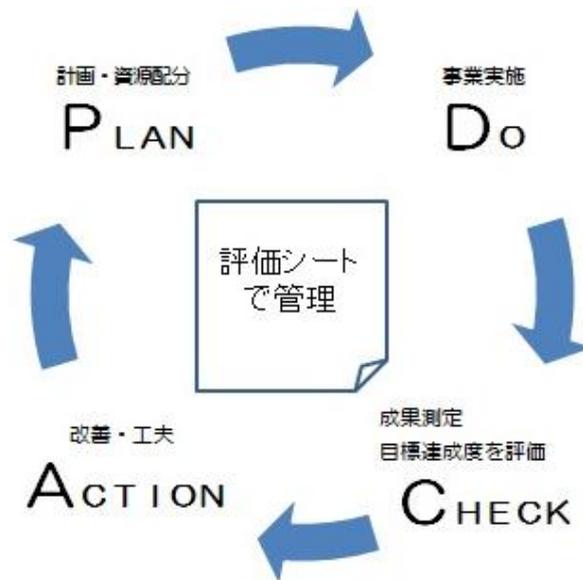
分野	施策	成果指標	25年度 実績値	26年度 目標値	26年度 実績値	27年度 目標値	27年度 実績値	28年度 目標値	目標 達成 状況	進展 度
計画の 推進	7111 多様な主体で担う公共のしくみづくり	地域内分権が進んでいると思う割合	15.9	20	14.7	22	16.4	24	85.0%	B
	7112 地域内分権を支える支所機能の充実									
	7121 情報化と広報機能の充実									
	7122 市民参加の促進と広聴機能の充実									
	7211 持続可能な財政運営の推進	市債残高の対平成24年度比	97.3	95.0	95.0	92.1	92.1	90.5	100.0%	A
	7212 自主財源の確保と負担の適正化	市税(過年度分含む)の収納率	92.2	92.9	92.9	93.6	93.6	94.2	100.0%	A
	7213 市民の財産として継承する持続可能な公共施設マネジメント	公共施設保有面積の削減目標に対する進捗率	0	0	0	21.2	21.2	24.0	100.0%	A
	7221 住民サービスに資する職員育成のための人事制度構築と運用									
	7222 行政組織のスリム化									
	7223 行政サービス機能の充実	コンビニ交付サービスによる証明書発行件数	0	300	313	2,000	1,435	3,000	66.0%	D
	7231 自主的な市行政の運営	外部評価を実施した施策数(割合)	0	0	0	0	0	6	—	—
	7232 市庁舎の整備	継続費の設定額に対する進捗率	0	0.1	0.1	0.2	0.2	15.5	100.0%	A
	7233 情報化による効率的な行政運営の実現									
	7234 広域的な連携による行政の運営	連携する自治体間の人口増加率	98.9	100	99.1	100	99.2	100	99.2%	B
	7241 総合計画に基づく市政の進行管理	市の各種事業について、進行管理ができていると思う割合	9.9	10	8.8	12	10.2	14	70.0%	D
7242 各種計画の整理統合	廃止又は整理統合を行った審議会数(累積)	0	22	21	30	24	35	37.5%	D	

※「計画の推進」を構成する施策の中で設定可能なものについて、平成28年度より成果指標を設定しました

行政評価とは

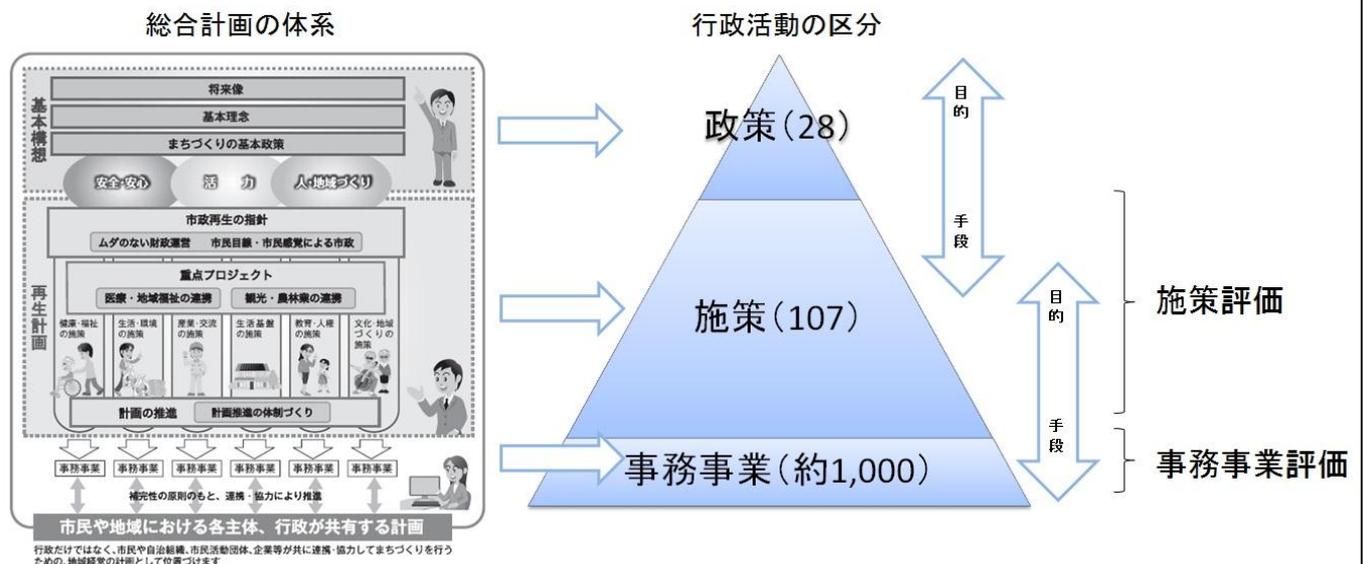
行政の様々な活動を、「市民にとっての効果は何か」「当初期待した目的どおりに成果が上がっているか」といった視点で評価・検証することで、より効率的で効果的な行政運営を追求する手法です。また、民間企業で培われた管理手法であるマネジメント（PDCA）サイクルを行政運営に取り入れようとするものです。PDCAとは、Plan（計画を立てる）、Do（実行する）、Check（実行した結果、目標に到達したか検証する）、Action（検証の結果を次の計画の改善につなげる）のことで、

【図1 PDCAサイクル】



伊賀市の行政評価は、再生計画に定める107の施策の達成状況の評価したうえで、政策の目標達成に向けた事務事業の改廃や予算編成につなげる「施策評価」を中心に実施しています。

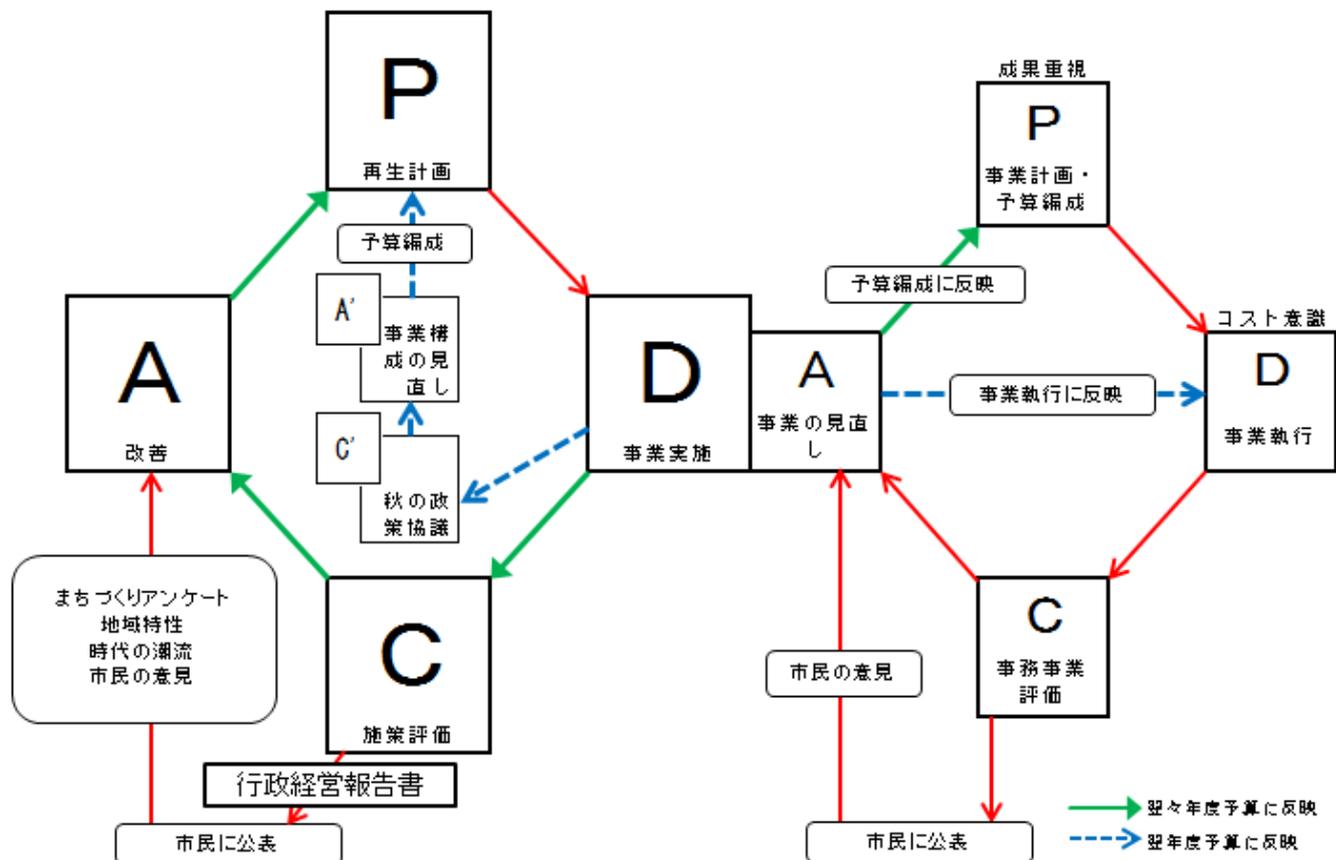
【図2 行政評価の分類】



「施策評価」については、部長などが施策評価シートを用いて、平成 26 年度の事業及び平成 27 年度の半期の成果や、時代の潮流や課題などから、昨秋に中間評価を実施し、その評価結果をもとに翌年度（平成 28 年度）の市政運営の方向性について政策協議（秋の行政経営協議）を行いました。昨年度末には、翌年度事業実施に際しての平成 27 年度の課題及び平成 28 年度の改善内容などについて再度、施策評価シートに追記しています。

また、行政評価の最小単位である「事務事業」の評価も行っており、年度末に所属長などが事業実施を振り返り、実施状況や課題、改善提案について記載します。改善提案については、すぐに取りかけられることは翌年度事業執行から、廃止改善することで影響があるものはフォロー一策などを翌々年度予算に反映させていきます。「事務事業評価」の詳しい内容は、毎年 9 月頃に公表を予定しています。

【図3 行政評価におけるPDCAサイクルの考え方】



伊賀市では、平成 18 年度より行政評価を実施していますが、内部評価をするにとどまっています。

今後、さらに評価の信頼性・客観性を高め、『市民目線、市民感覚で、分かりやすく公平で透明性のある、地域に偏りのない市政の確保』を達成していくため、平成 28 年度より外部評価の取り組みを新たに導入します。

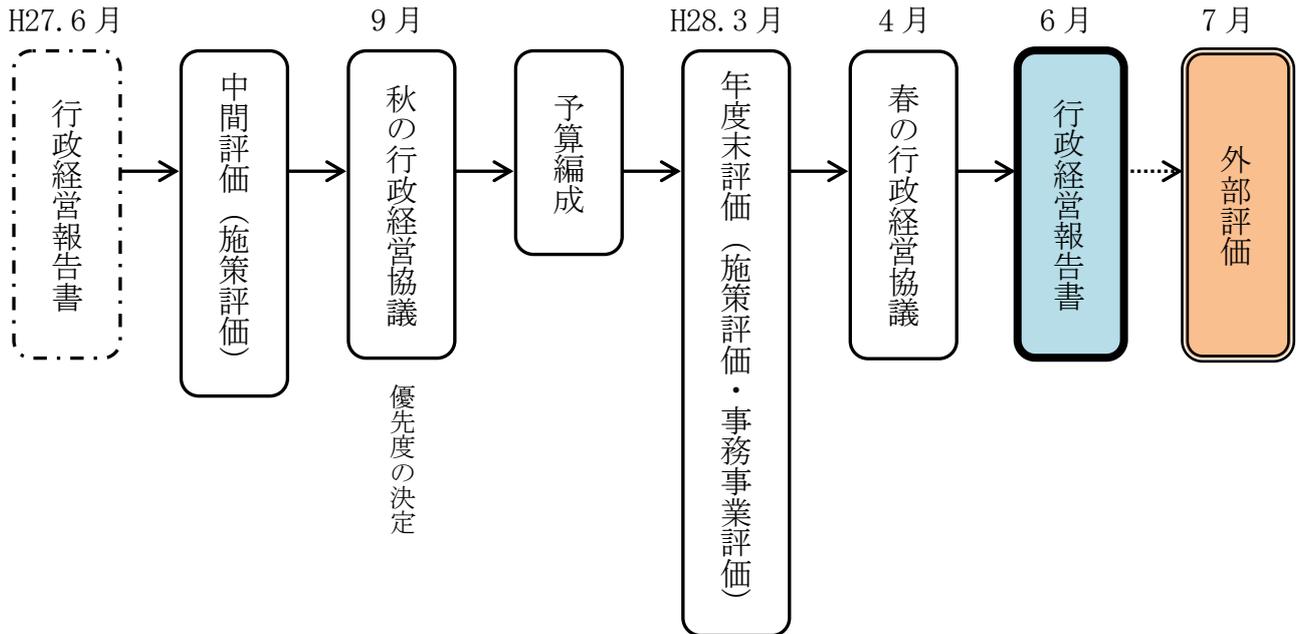
外部評価とは、学識経験者、公共的団体や住民自治協議会等の代表、市民公募など 15 名で構成される伊賀市総合計画審議会により、市が行った内部評価について検証するものです。導入

初年度となる平成 28 年度は、各分野に 1 つずつの施策を対象とする予定です。

外部評価で得られた意見・提言等は、対象となった施策を担当する職員だけでなく、全ての評価担当者の意識改革を促すとともに、内部評価を行う際の参考となります。そして、信頼性・客観性がさらに高まった内部評価から導き出される施策の方向性は、平成 29 年度予算編成や第二次再生計画（仮称）等へ反映していくことができます。

なお、今年度に行う外部評価の結果は、平成 29 年度行政経営報告書で公表する予定です。

【図 4 外部評価を行うまでの流れ】



重点プロジェクト

「重点プロジェクト」の政策展開においては、次のように進めていきます。

医療・地域福祉連携プロジェクト

伊賀市立上野総合市民病院については、平成 24 年度に 15 人だった常勤医師が平成 28 年 4 月から 22 人となりました。また、未稼働病床であった 4 階病棟も再開し、全病床オープンとなり体制が整ってきたため、平成 28 年度は、重点課題として地域の開業医との医療連携の充実を行います。前年度で、開業医からの紹介率が 72%、当院からの逆紹介率が 71%を超えた事、また、地域での医療役割として消化器疾患に対する治療・癌疾患に対する治療を進めていく事で、三重県にも地域医療支援病院の指定申請を行いました。

また、病院経営におきましては、一般会計からの繰出金を減額しつつ、病院診療収益での運営ができる様に、職員への経営意識の浸透を図ります。今後、三重県が策定を進める地域医療構想（ビジョン）に基づき、公立病院としての役割をしっかりと見据えた改革プランを作成し、プランに沿った病院運営を行います。



伊賀市立上野総合市民病院

観光・農林業連携プロジェクト

観光振興は、市外からの交流人口を増やし、地域内消費を拡大し、また、市外に向けて伊賀市の特産品を売り出すため重要なものです。今年も「伊賀上野NINJAフェスタ」を4月から5月の連休にかけ、地域の皆さんやボランティアの皆さんの協力をいただきながら開催しました。



伊賀上野NINJAフェスタ

「関係地づくり」の視点から東京・上野恩賜公園や大阪・天神橋筋商店街でもフェスタを開催します。

また、「日本忍者協議会」と連携し、誘客・認知度の向上を一層図ります。

着地型観光事業を伊賀市の中核的観光事業として推進すべく、「伊賀ぶらり体験博覧会いがぶら」を引き続き開催します。

増加する外国人観光客の利便性を向上させるため、Wi-Fiフリースポット（無線公衆LAN）の設置箇所を増やします。



昨年度の食材フェアの様子

農業振興では、伊賀の食材の販路開拓、さらには生産意欲の向上や観光振興を目的に、平成28年度も東京浅草で食材フェアの開催やアンテナショップを開設します。

本年度設立した、伊賀市営業本部において、これらの「食」「物産」「観光」などの魅力を事業者と一体となって国内外へ情報発信することで、誘客促進や市産品の販路拡大を図ります。

「人・農地プラン」について、平成27年度には新たに6プラン（6集落）が策定されました。また、農地中間管理機構を介して集積された、県内の農地貸付面積の約3分の1程度に当たる323haが担い手農家へ集約されました。引き

続き、人と農地の問題解決に向け各集落でプランが作成できるよう推進します。

新規就農者の確保や担い手への農地集積・集約化を各機関・団体などとの連携により推進します。

意欲ある農業者に、海外の取り組みや経営方針などを学んでもらうため、海外研修派遣事業を行います。帰国後の報告会などを通じ、広く農業者に情報提供をしてもらうことで、持続可能な農業の推進につながるものと期待しています。

中山間地域などでは、担い手の収益力向上を図るため、農地中間管理機構などから新たに農地を借り受けて、経営の規模拡大を図る担い手や、収益力の高い作物の導入を図る担い手を支援します。

森林・林業については、森林の多面的機能の増進を図る環境林整備事業を推進するとともに、地域ぐるみの里山林の保全活動に対する支援「みんなの里山整備活動推進事業」の実施地域の拡大を図ります。また、森林資源を有効活用しつつ、整備につなげるため、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、未利用間伐材を木質バイオマスとして利用することに対する補助事業を開始するなど、未利用間伐材の利用推進にも取り組みます。

「分野別計画」及び「計画の推進」については、施策毎に施策評価シートにより平成 27 年度の取り組みと残された課題、それに対する平成 28 年度の改善ポイントと具体的な取り組みをお示ししています。

分野別計画・計画の推進一覧

分野	政策	施策	頁	
1 健康・福祉	11 健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり	1101 市民主体の健康づくり活動を支援する体制づくり	28	
		1102 市民一人ひとりが健康で健やかに暮らせる環境づくり	30	
		1103 疾病の早期発見・早期治療につなげる体制づくり	32	
		1104 歯の健康づくりを推進するための体制づくり	34	
		1105 感染症に関する情報提供と体制づくり	36	
		1106 地域医療の充実	38	
		1107 福祉医療費助成制度の充実	40	
	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	1201 官民協働による、新たな福祉の総合相談支援を行う体制づくり	42	
		1202 児童虐待、障がい者虐待及びDV被害等による関係機関との支援体制づくり	44	
		1203 乳幼児期から学齢期、青年期まで途切れのない支援を行う体制づくり	46	
		1204 医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり	48	
		1205 だれもが自分らしく暮らせるまちづくり	50	
		1206 地域における、見守り、支えあう体制づくり	52	
	13 子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	1301 地域における子育て支援事業の充実	54	
		1302 ひとり親家庭の自立支援の推進	56	
		1303 乳幼児期から生育・食育を含めた知識の普及と途切れのない子育て支援の体制づくり	58	
	2 生活・環境	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	2101 さまざまな災害を想定した体制づくり	60
			2102 災害時に援護や配慮が必要な人々を支援する体制づくり	62
			2103 災害時における情報収集、伝達機能を確保する施設整備の推進	64
			2104 消防体制の強化推進	66
			2105 救急・救助体制の強化	68
2106 非常備消防体制の充実強化			70	
2107 交通事故ゼロをめざした取り組みの推進			72	
2108 消費者被害防止のための啓発等の充実			74	
2109 河川環境の保全・整備			76	
22 自然を守り、自然と調和したまちづくり		2201 環境保全意識の高揚・啓発	78	
		2202 地球温暖化防止に向けた取り組みの推進	80	
		2203 不法投棄をさせない、されない体制づくり	82	
23 環境に配慮した生活環境が整うまちづくり		2301 効率的な収集ができる体制づくり	84	
		2302 ごみ減量及び資源のリサイクルを推進する体制づくり	86	
		2303 ごみ処理施設のあり方を検討する体制づくり	88	
		2304 水道水源の安定確保	90	
		2305 水道施設の充実と健全運営	92	
		2306 生活排水処理施設整備の推進と適正な維持管理	94	
		2307 下水道事業の健全経営	96	
		2308 排水路の改修、整備	98	
		2309 し尿処理施設の整備	100	

分野	政策	施策	頁	
3 産業・交流	31 地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	3101 観光・物産情報の発信と、市民ぐるみの誘客とPR	102	
		3102 市内全域の魅力アップと「おもてなし」のしくみづくり	104	
	32 人と人がつながる元気な農林業のまちづくり	3201 持続可能な農業の推進	106	
		3202 森林の整備と住民の取り組み	108	
	33 中心市街地と各地域が連携した賑わいあるまちづくり	3301 中心市街地の魅力を発掘し、市内外へ発信する体制づくり	110	
		3302 商業・文化の交流拠点となる中心市街地の再生	112	
		3303 個店の機能強化と商店街機能の充実	114	
	34 地域性を活かしたモノづくりと新たなサービス創出が活発なまちづくり	3401 地域産業の高付加価値化	116	
	35 だれもが働きやすく、働く意欲が持てるまちづくり	3501 働く人の意欲に応える多様な就業・雇用の促進	118	
		3502 若年無業者の職業的自立への支援	120	
		3503 若者の地元雇用に向けた就業支援	122	
	36 多様な主体が地域課題を解決するため起業できるまちづくり	3601 コミュニティビジネスなどの起業の普及啓発と支援	124	
		3602 コミュニティビジネスの中間支援	126	
		3603 市民公益活動団体等の基盤強化支援	128	
	4 生活基盤	41 歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり	4101 効率的で持続可能な都市構成をめざした制度づくり	130
			4102 快適で潤いある都市空間の形成と安全・安心の公園整備	132
			4103 伊賀市らしい魅力ある景観を守り、活かす体制づくり	134
			4104 既存住宅の耐震診断・耐震補強の促進	136
4105 市営住宅の建替・改善事業の推進			138	
42 市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり		4201 市内幹線道路・生活道路の整備	140	
		4202 道路環境の維持・向上	142	
		4203 交通政策の計画的な推進	144	
		4204 安定的で持続可能な交通サービスの提供	146	
		4205 伊賀線の活性化及び再生	148	
		4206 JR関西本線の近代化整備	150	
		4207 JR草津線及び近鉄大阪線の利便性向上、リニア中央新幹線建設促進	152	
5 教育・人権		51 あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	5101 人権意識の高揚	154
			5102 人権擁護と救済	156
	5103 非核平和の推進		158	
	5104 同和行政の推進		160	
	5105 人権教育リーダーの育成		162	
	52 女性がより一層活躍できる男女共同参画のまちづくり	5201 あらゆる分野における男女共同参画	164	
		5202 男女の人権尊重	166	
		5203 ワーク・ライフ・バランスの推進	168	
	53 将来を支える子どもたちが充実した教育を受けられるまちづくり	5301 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を推進する体制づくり	170	
		5302 望ましい学校教育環境を提供する体制づくり	172	
5303 適正な学校規模を推進する体制づくり		174		

分野	政策	施策	頁
5 教育・ 人権	54 生涯にわたって学びの機会が持てるまちづくり	5401 生涯学習活動の推進	176
		5402 だれもが利用しやすい図書館の充実	178
		5403 子どもの読書活動を推進するための体制づくり	180
		5404 青少年健全育成を推進するための体制づくり	182
		5405 公民館活動の活性化と育成	184
6 文化・ 地域づくり	61 文化の違いを尊重し、多文化が共生するまちづくり	6101 多文化共生施策の充実と推進体制の整備	186
	62 文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	6201 豊かな感性を育む文化・芸術意識の高揚	188
		6202 市民の身近で充実した文化施設	190
		6203 芭蕉翁を核とした地域づくりの継承	192
		6204 歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	194
		6205 だれもが気軽に楽しめるスポーツの振興	196
	63 地域活動や地域産業などの担い手が育ち、活躍するまちづくり	6301 市民活動支援機能等の充実	198
		6302 地域の人材育成の促進	200
	64 地域活動や市民活動が活発なまちづくり	6401 協働意識の醸成	202
		6402 協働によるまちづくりの推進	204
		6403 住民自治協議会の支援体制づくり	206
		6404 自治センター化の体制づくり	208
	計画の 推進	711 地域内分権の推進	7111 多様な主体で担う公共のしくみづくり
7112 地域内分権を支える支所機能の充実			212
712 情報共有と市民参加		7121 情報化と広報機能の充実	214
		7122 市民参加の促進と広聴機能の充実	216
721 財政の的確な運営		7211 持続可能な財政運営の推進	218
		7212 自主財源の確保と負担の適正化	220
		7213 市民の財産として継承する持続可能な公共施設マネジメント	222
722 市民の期待に応えられる人・組織づくり		7221 住民サービスに資する職員育成のための人事制度構築と運用	224
		7222 行政組織のスリム化	226
		7223 行政サービス機能の充実	228
723 行政の自立的な運営		7231 自立的な市行政の運営	230
		7232 市庁舎の整備	232
		7233 情報化による効率的な行政運営の実現	234
		7234 広域的な連携による行政の運営	236
724 進行管理のしくみ	7241 総合計画に基づく市政の進行管理	238	
	7242 各種計画の整理統合	240	

施策評価シートの見方

基本情報	政策名等	00	みんなでめざすまちづくりの方向や目的を記載	担当部署	000000	〇〇部〇〇課	連絡先 0595-00-0000
	施策	0000	政策を実現するために、みんなで取り組む方策	評価責任者・役職名	〇〇部 部長 〇〇 〇〇		
	再生の視点 (何を、どうする)	再生計画に掲げる「再生の視点」を記載しています					
	施策の方向	再生計画に掲げる「施策の方向」を記載しています					

市民意識調査結果		成果指標 指標名 再生計画に掲げる「成果指標名(施策の目標項目名)」を記載しています	
		指標の説明 再生計画に掲げる、目標の意味、内容、用語の説明などを記載しています	
		H28目標 目標数値	

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
前年度の取組内容と残された課題	平成25年度の取組結果について、市民にとっての成果を検証する観点から、平成28年度末までの目的実現に向けての取組みの成果と残った課題や、環境変化に伴い発生している課題を明らかにしています。	平成26年度の取組結果について、市民にとっての成果を検証する観点から、平成28年度末までの目的実現に向けての取組みの成果と残った課題や、環境変化に伴い発生している課題を明らかにしています。	平成27年度の取組結果について、市民にとっての成果を検証する観点から、平成28年度末までの目的実現に向けての取組みの成果と残った課題や、環境変化に伴い発生している課題を明らかにしています。
改善ポイントと具体的な取組	検証結果を踏まえ、平成26年度予算で見直しを検討した事項(改善のポイント)や継続的・重点的に取組む方向を明らかにしています。	検証結果を踏まえ、平成27年度予算で見直しを検討した事項(改善のポイント)や継続的・重点的に取組む方向を明らかにしています。	検証結果を踏まえ、平成28年度予算で見直しを検討した事項(改善のポイント)や継続的・重点的に取組む方向を明らかにしています。

(続紙)

施策 0000

政策を実現するために、みんなで取り組む方策

(千円)

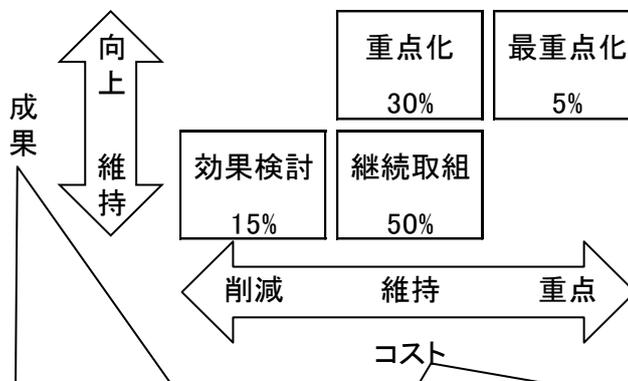
No	26 重点	27 重点	28 重点	事務事業名	事業概要	H27 予算	H27 決算 見込	コスト の方向	H28 予算
平成28年度の取組内容です。									
事務事業名とコード(会計-款-項-目-細目-細々目)を記載しています。									
平成26年度、平成27年度、平成27年度における、重点事業の上位3つを記載しています。									
コスト投入の方向性を、以下の理由から選択しています。									
『新規』・・・新規事業 『↑(拡大)』・・・前年度より、予算または人件費を増やす 『→(維持)』・・・前年度と同程度の予算と人件費で実施する 『↓(縮小)』・・・前年度より少ない予算または人件費で実施する 『皆減』・・・施策の目的実現に向けて効果が薄い、事務事業の目的を達成した、設定された終期が到来したなどのため、予算も人件費も0とする									
構成事務事業 合計									

構成事務事業の重点化

中間総括	第1次再生計画期間全体を総括して	施策の達成状況、進捗状況、まちづくりアンケートの結果の要因、計画策定時点(平成26年度)と比べて、社会動向、経済環境、大きな事故や事件、災害、法律の変更などについて、総括しています。
	第2次再生計画(仮称)への課題、対応について	上記をふまえ、今後の課題や対応などを整理し、平成29年から4年間で、本施策を続けていくべきか、続けていくならどこに注力して実施するのか、留意点について記載しています。

優先度の決定方法

平成 27 年 9 月に行われた秋の行政経営協議において、「成果の方向」と「コストの方向」から優先度を下記の施策数の割合で位置づけました。この考え方により位置づけられた優先度は、平成 28 年度施策評価シートの優先度の部分に反映しています。



成果面で、平成 28 年度の方向性について検証

- ①目標達成状況から評価(達成度向上の余地)
4点・・・70%未満、3点・・・70%以上85%未満、
2点・・・85%以上、1点・・・100%、
0点・・・実績なし
 - ②まちづくりアンケートの結果による評価
4点・・・必要度が高く満足度が低い、
3点・・・必要度が高く満足度が中間、
2点・・・満足度が中間、
1点・・・満足度が高い、
0点・・・必要度が低い
 - ③成果向上に向けての市の関与
4点・・・増、2点・・・維持、0点・・・減
- 以上を参考に判断(上位30%の施策を「向上」)

コスト面で、平成 28 年度の方向性について検証

- ①総合戦略の位置づけ
1点・・・関連あり、0点・・・関連なし
- 施策全体に占める各施策のH27予算の割合と、①を参考
- に判断

さらに、施策を構成する事務事業に重点順位をつけ、財源配分を行っています。【イメージ図】

